

		エスコ				ESCO		
一般名称	エポキシ樹脂さび止め塗料							
適用規格	JIS K 555	JIS K 5551:2018 構造物用さび止めペイント A種・B種						
系統	ケチミン瓦	更化エポキシ樹脂さ	び止め塗料(2	2液浸透形)				
主な用途	【電力・プ	プラント用】 【鉄塔・鉄骨用】 など						
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート			
	0	×	×	×	適用可			
特長	2)ハケ作	サビ層)への浸透が E業性が良く、厚塗り 操性が良い。		方食性がある。				
	塗料密度(比重)				88(白)			
	溶剤密度(比重)			0. 87				
	加熱残分			709	70%(白)			
法令など	Parist		ベース			硬化剤 ————————————————————————————————————		
	劇物表示 (品名・含有率)		_			_		
	労安法上の 表示有害物	キシレン、イソブチルアルコール エチルベンゼン			キシレン、トルエン メチルイソブチルケトン			
	使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等			第2種有機溶剤等			
	消防法による 危険物区分	第2石油類(非水溶性)			第1石油類(非水溶性)			
	硬化剤の成分 による区分	ケチミン						
	ホルムアルデヒド 放散等級		F☆☆☆(放散量0.12mg/L以下)					
製品情報			ベース		硬化剤			
=	荷姿	18kgセット	16. 2kg		1. 8kg			
-	混合比(重量比)	<u> 4Kg ゼット</u>	4kgセット 3. 6kg 0. 4kg ベース:硬化剤=9:1 1					
-	主な色(色相)							
		○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。						
 素地調整	〇水洗に	より塩分、水溶性汚	5染物質を除去	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	〇水洗に	より塩分、水溶性汚 塗装仕様書を参照	5染物質を除去 ください。 <u></u> 更化剤を所定 <i>0</i>	まする。適切な の割合になるま	先浄剤や溶剤で で少しずつかき	:、油やグリースを除去する。 :混ぜながら加えたのち		
	○水洗に ○詳細は	より塩分、水溶性活金装仕様書を参照 ベースに対して砂下記のシンナー	会 会にさい。 要化剤を所定の を規定内で混っ	まする。適切な治 の割合になるま 入し、十分攪拌	先浄剤や溶剤で で少しずつかき	流油やグリースを除去する。混ぜながら加えたのちる。		
素地調整使用方法	〇水洗に 〇詳細は 調合方法	より塩分、水溶性活 塗装仕様書を参照 ベースに対して砂 下記のシンナー 不要 ※規 標準 ; テクトE	を決物質を除去ください。 更化剤を所定のを規定内で混りを規定内で混り 体に規定がある。	まする。適切な の割合になるま 入し、十分攪拌 るものは、それ	先浄剤や溶剤で で少しずつかき したのち使用す	流油やグリースを除去する。混ぜながら加えたのちる。		
	○水洗に ○詳細は 調合方法 熟成時間	より塩分、水溶性汚 塗装仕様書を参照 ベースに対して研 下記のシンナーで 不要 ※規	を決物質を除去ください。 更化剤を所定のを規定内で混り 格に規定がある。 Pシンナー P遅乾シンナー	まする。適切な の割合になるま 入し、十分攪拌 るものは、それ	先浄剤や溶剤でで少しずつかきしたのち使用す	流油やグリースを除去する。混ぜながら加えたのちる。		



ESCO エスコ

使用量と膜厚

冷壮士:+	標準	標準使用量注)	
塗装方法 	Dry(μm)	Wet(μm)	g/ m ੈ/回
エアレススプレー塗り	100	200	460
ハケ・ローラー塗り	40	100	140

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5°C	10℃	20°C	30°C	40°C	
*/- k= n+ 88	指触	2時間	2時間	1時間	30分	30分	
乾燥時間 	半硬化	12時間	12時間	4時間	2時間	2時間	
無准冷壮眼痘 冷\	最短	16時間	16時間	8時間	6時間	6時間	
標準塗装間隔 注〕	最長	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	
可使時間		12時間	12時間	7時間	5時間	3時間	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: SDジンクなど

下塗塗料 弱溶剤:

ハイソリット:

水性:

主な適用 上塗塗料

強溶剤: エポマリン、ラバテクトN中塗、レタン中塗E、セラテクトU中塗、セラテクトF中塗など

弱溶剤: ハイソリット::

水性:

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用 、 長時間 100℃耐用

(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数值

希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
0	52. 4	1. 9
5	48. 6	2. 1
10	45. 2	2. 2

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または 【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で 希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。

※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。

○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。

○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。 貯蔵条件

高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の 注意事項

- 1)被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。2)浮きさびやルーズな黒皮、旧塗膜面の発錆や塗膜の浮きなどは十分に除去して塗装してください。3)塗原が乾燥過程で水(降雨など)の作用をと白化することがあります。
- この場合は軽くサンドペーパーなどで表面を研磨して表層を除去してください。 4)SDマリンセーフティなどの塗り重ねは7日以内(20°C)で行ってください。

- 5) 常時没水される場合は使用できません。 6) 塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。 本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。 7) 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データーシート)を参照してください。